

グリーンインフラの取組と今後の展開について

国土交通省 総合政策局 環境政策課

グリーンインフラの10年間を振り返って (国土交通省関連の動き)

2015年	<ul style="list-style-type: none"> 「第三次国土形成計画」閣議決定 「第4次社会資本整備重点計画」閣議決定 	<p>「グリーンインフラ」が政府の計画に初めて盛り込まれる</p>
2016年		
2017年		
2018年		<p>「グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組」と定義し、特徴や意義を整理</p>
2019年	<ul style="list-style-type: none"> 「グリーンインフラ推進戦略」(国交省)公表 	
2020年	<ul style="list-style-type: none"> 「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」設立 「グリーンインフラ大賞」の開始 	<p>附帯決議に、流域治水の取組においては「グリーンインフラの考えを推進する。」旨が盛り込まれる</p>
2021年	<ul style="list-style-type: none"> 「流域治水関連法」の成立 	
2022年	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性条約第15回締結国会議【COP15】：「昆明・モントリオール生物多様性枠組」の採択等 「SDGsアクションプラン2020」(内閣SDGs推進本部)の策定 	
2023年	<ul style="list-style-type: none"> 「生物多様性国家戦略2023-2030」(閣議決定)の策定 「グリーンインフラ推進戦略2023」(全面改訂)の策定 「TNFD」(自然関連財務情報開示タスクフォース)最終提言の公表 「グリーンインフラ実践ガイド」(国交省)の発行 「グリーンインフラ産業展」の開始 	<p>本格的な社会実装フェーズへの移行を打ち出すとともに、取組にあたっての視点や国交省の取組を総合的・体系的に整理</p>
2024年	<ul style="list-style-type: none"> 「ネイチャーポジティブ経済移行戦略」策定(環境省・農水省・経産省・国交省) 「都市緑地法の一部を改正する法律」成立 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 法に基づく「緑の基本方針」(国交省)の策定 ✓ 「優良緑地確保計画認定制度 TSUNAG」の運用開始 「生物の生息・生育・繁殖の場としてもふさわしい河川整備及び流域全体としての生態系ネットワークのあり方提言」(生物の生息・生育・繁殖の場としてもふさわしい河川整備及び流域全体としての生態系ネットワークのあり方検討会)の公表 「緑の基本計画×グリーンインフラガイドライン(案)」(国交省)の発行 「グリーンインフラの事業・投資のすゝめ」(経済価値研究会)の発行 	<p>国交省として、初めて、グリーンインフラに関連する認定制度を創設</p>

グリーンインフラ推進戦略2023(令和5年9月)

- 本格的な実装フェーズへ移行するとともに、ネイチャーポジティブやカーボンニュートラル・GX等の世界的潮流等を踏まえ、前戦略(R元年7月)を全面改訂し、新たな「グリーンインフラ推進戦略2023」を策定。
- 本戦略では、新たにグリーンインフラの目指す姿や取組に当たっての視点を示すとともに、官と民が両輪となって、あらゆる分野・場面でグリーンインフラを普及・ビルトインすることを目指し、国土交通省の取組を総合的・体系的に位置づけ。

世界的な潮流

- **ネイチャーポジティブ**
 - ・昆明・モントリオール生物多様性枠組(R4.12)
 - ・生物多様性国家戦略(R5.3閣議決定)
- **カーボンニュートラル**
 - ・カーボンニュートラル宣言(R2.10)
 - ・GX推進法の成立(R5.5)

グリーンインフラへの期待

- **社会資本整備・まちづくり等の課題解決**
 - ・災害の激甚化・頻発化
 - ・インフラの老朽化
 - ・魅力とゆとりある都市・生活空間へのニーズ
 - ・人口減少社会での土地利用の変化
- **新たな社会像の実現**
 - ・SDGs
 - ・Well-being
 - ・ワンヘルス
 - ・子どもまんなか社会
 - ・地方創生(デジタル田園都市国家構想)

- **日本の歴史・文化との親和性を踏まえた活用**

グリーンインフラで目指す姿「自然と共生する社会」

グリーンインフラの意義:①ネイチャーポジティブ・カーボンニュートラル等への貢献 ②社会資本整備やまちづくりの質向上、機能強化 ③SDGs、地方創生への貢献

1) 自然の力に支えられ、安全・安心に暮らせる社会 (安全・安心)

2) 自然の中で健康・快適に暮らし、クリエイティブに楽しく活動できる社会 (まち)

3) 自然を通じて、安らぎとつながりが生まれ、子どもたちが健やかに育つ社会 (ひと)

4) 自然を活かした地域活性化により、豊かさや賑わいのある社会 (しごと)

「グリーンインフラのビルトイン」に向けた7つの視点

連携	コミュニティ	技術	評価	資金調達	グローバル	デジタル
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境が有する機能を活用した流域治水の推進 ・ 都市緑化や都市公園整備等による吸収源対策 ・ 雨庭、雨水貯留・浸透施設の整備 ・ 建築物における木材利用推進 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり ・ 自然豊かな都市空間づくりや環境性能に配慮した不動産投資市場の形成 ・ 住宅・建築物、道路空間、低未利用地等の緑化推進 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境教育の推進 ・ 自然豊かな遊び場の確保 ・ かわまちづくり、多自然川づくり ・ ブルーインフラ拡大プロジェクト ・ グリーンインフラコミュニティの醸成 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景観・歴史まちづくりの推進 ・ 自然・文化等の観光資源の保全、地域社会・経済に好循環をもたらす持続可能な観光の推進 ・ カーボン・クレジットの活用 等 			

産学官金の多様な主体の取組の促進

(グリーンインフラ官民連携プラットフォームの取組の深化等)

実用的な評価・認証手法の構築

(都市緑地等のグリーンインフラに係る評価制度の構築、TNFD※との連携等)

新技術の開発・活用の促進

(新技術開発、自然資本のデジタル基盤情報の開発等、各技術指針への位置づけ等)

支援の充実

(社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金等)

「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」や経済団体と連携した国民運動の展開

中期的ロードマップの策定／毎年のフォローアップ

- 国内外の社会経済情勢の動きや、グリーンインフラの取組を進めていく中で見えてきた課題等を踏まえ、**グリーンインフラを量的に拡大させて普遍化していくことを目指すとともに、その先の国際展開を見据え、グリーンインフラの今後の展開について幅広く議論、検討を行う。**

<開催趣旨>

国内外の動向

- ・ NbSへの注目の高まり
- ・ 情報開示を通じて、市場取引や投資に係る動きが加速

課題

- ・ 市民等への認知度が低い状況
- ・ グリーンインフラの取組が評価される環境づくり

開催コンセプト

グリーンインフラを量的に拡大させて普遍化していくことを目指すとともに、その先の国際展開を見据え、グリーンインフラの今後の展開について、幅広く、議論、検討を行う。

目標

普及啓発

効果の見える化

資金調達

国際展開

（ロード管理ツブ）

<委員>

- | | |
|---------|-------------------|
| 朝日 ちさと | 東京都立大学都市環境学部教授 |
| ◎ 石田 東生 | 筑波大学名誉教授 |
| 相場 崇 | 横浜市環境創造局政策調整部長 |
| 木下 剛 | 千葉大学大学院園芸学研究院教授 |
| 中村 太士 | 北海道大学大学院農学研究院名誉教授 |
| 馬奈木 俊介 | 九州大学大学院工学研究院教授 |
| 涌井 史郎 | 東京都市大学環境学部特別教授 |

（敬称略・五十音順、◎：座長）

<令和6-7年度 スケジュール>

- **第1回 グリーンインフラ懇談会（令和7年2月4日）**
・ 最近の動向、各分野取組状況、論点整理
- **第2回 グリーンインフラ懇談会（令和7年3月11日）**
・ 第1回を踏まえた整理、目標 等
- **第3回 グリーンインフラ懇談会（令和7年3月28日）**
・ 中間的とりまとめ（環境行動計画改定に向けて）
- 環境行動計画改定（令和7年春頃）※エッセンスを盛り込み
- とりまとめ（令和7年夏頃）